

外国語活動学習指導案

海田町立海田小学校

- 1 日時 平成30年11月1日(木) 第2校時
- 2 学年 第3学年2組(男子12名 女子12名 計24名)
- 3 単元名 Dream 3-8 What's this? これなあに?

4 単元について

- 本単元は、目の前の物が何かを尋ねたり答えたりする表現や、果物、野菜、動物を表す語を扱い、単元の最後には「クイズ大会」を行う。クイズ大会に向けて、映像やクイズ、ヒントクイズ、漢字クイズなどさまざまなクイズを組み込み、最終の活動に向けて児童の意欲が高まるよう単元を構成している。
- 本学年の児童は、毎朝取り組んでいる「ひとくち英語」のコーナーにおいて、身近な物に関する英単語に慣れ親しんでいる。また、1学期の学習においては、「あいさつ」「相手の機嫌を知る」「数の尋ね方や答え方」「自分の好みを紹介する」といった表現にも慣れ親しんできた。
本学級の児童は、6月に行った外国語活動(英語)についてのアンケート調査によると、次のような実態があることが分かった。

番号	項目	肯定的回答の割合(人数)
①	もっと英語を学びたいと思います。	91%(23人中21人)
②	外国語活動(英語)の授業に進んで参加しています。	96%(23人中22人)
③	英語でやり取りをする時には、相手の言ったことにうなずいたり、英語で返事したりしています。	83%(23人中19人)
④	英語でやり取りをする時には、会話が続くように、知っている表現を使うようにしています。	83%(23人中19人)

- ①, ②の結果より、英語の学習が好きな児童が多く、英語の学習に意欲的に取り組むことができている。一方で、③, ④の結果からは、英語でのやり取りを苦手としている児童が4名いることが分かる。授業の見取りにおいても、学習場面で使用する英単語を理解し発音することができるが、相手に尋ねたり答えたりするやり取りに自信がもてていないため、うまく会話ができない児童が数名いる。相手意識をもった表現活動の場を多く設定する必要があると考える。
- 指導に当たっては、単元の初めにゴールの活動として「クイズ大会」を行うことを児童に伝えることにより、やってみたいという意欲を高め、主体的に取り組んでいけるようにする。そのために、担任とJALTで手本を見せ、単語や表現をはっきりと言わせるようにさせ、児童が自信をもってコミュニケーションを図ることができるよう工夫する。単元で使用する単語や表現は、イラストや表現文を黒板に掲示し、視覚的支援も取り入れながら授業を展開していく。単元最後のクイズ大会では、「相手に伝わるように工夫しながら」を重点とするため、解答者が全問正解できるようなクイズを出題させるようにしていく。そのための手立てとして、反応を確かめてヒントを出すことや、相手に伝わるジェスチャーを工夫することを指導する。また、clear voice, smile, eye contactを意識させる。

5 単元の目標

- 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり、それが何かを答えたりする表現に慣れ親しむ。
【外国語への慣れ親しみ】
- 外来語とそれが由来する英語の違いに気付く。
【言語や文化に関する気付き】

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。	身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり、それが何かを答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。	外来語とそれが由来する英語の違いに気付いている。

7 使用表現・語彙

【主な使用表現・語彙】

- ・ What is this? Hint, please. It's (a fruit). It's (green). It's a (melon).
- ・ That's right. ・ Close.
- ・ 動物 (elephant, monkey, tiger, beetle, jellyfish など)
- ・ 野菜 (cucumber, carrot, green pepper, onion など)
- ・ 果物 (apple, pineapple, banana, grape など)

【繰り返しの使用表現・語彙】

- ・ Hint, please.
- ・ 身の回りの物, 色

8 単元計画 (5時間)

時	目標と主な活動	表現・会話例	評価規準 (方法)
1	<p>【慣】 外来語とそれが由来する英語の違いに気付くとともに、身の回りの言い方に慣れ親しむ。</p> <p>野菜, 果物の名前を言おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 【Small Talk】「3 ヒントクイズ」 ○ 【Let's Chant】“What's this?” ○ 「単語発音練習」 野菜, 果物 ○ 【Activity】「絵カードクイズ」 野菜, 果物 	野菜 ・ green pepper ・ tomato ・ pumpkin 果物 ・ apple ・ orange ・ cherry 等	<p>【気】 外来語とそれが由来する英語の違いに気付いている。</p> <p>【慣】 身の回りの言い方に慣れ親しんでいる。＜行動観察・振り返りカード＞</p>
2	<p>【慣】 身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり、それが何かを答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>野菜, 果物, 動物の名前を言おう。</p>	What's this? It's a ○○. 野菜	<p>【慣】 ある物が何かを尋ねたり、それが何かを答えた</p>

	<p>○【Small Talk】「絵カードクイズ」</p> <p>○【Let's Chant】What's this?</p> <p>○「単語発音練習」 野菜, 果物, 動物</p> <p>○【Activity】「ミッシングゲーム」 果物</p> <p>○【Activity】「絵カードクイズ」 野菜, 果物</p> <p>○【Activity】「ジェスチャークイズ」 動物</p>	<p>・ corn</p> <p>・ cabbage</p> <p>果物</p> <p>・ pineapple</p> <p>・ banana</p> <p>動物</p> <p>・ rabbit</p> <p>・ panda</p> <p>等</p>	<p>りする表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード></p>
3	<p>【慣】ある物が何かを尋ねたり, それが何かを答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p><u>水に住む生き物の名前を言おう。</u></p> <p>○【Small Talk】「3 ヒントクイズ」水に住む生き物</p> <p>○【Let's Chant】What's this?</p> <p>○【Activity】「漢字クイズ」</p> <p>○【Activity】「シルエットクイズ」</p>	<p>What's this?</p> <p>It's a ○○.</p> <p>Hint, please.</p> <p>・ starfish</p> <p>・ jellyfish</p> <p>・ salmon</p> <p>・ tuna</p> <p>・ crab 等</p>	<p>【慣】ある物が何かを尋ねたり, それが何かを答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード></p>
4	<p>【慣】ある物が何かを尋ねたり, それが何かを答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p><u>クイズ大会のじゅんぴをしよう。</u></p> <p>○【Small Talk】「シルエットクイズ」野菜</p> <p>○【Let's Chant】What's this?</p> <p>○「単語発音練習」 色 野菜, 果物</p> <p>○野菜と果物の色を確認する。</p> <p>○クイズ大会の準備をする。</p> <p>・次時で行うクイズ大会の問題をペアで考える。 ヒントクイズ (野菜, 果物)</p>	<p>What color is this?</p> <p>・ black</p> <p>・ blue</p> <p>・ brown</p> <p>・ gray</p> <p>等</p>	<p>【慣】ある物が何かを尋ねたり, それが何かを答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード></p>
5 本時	<p>【コ】相手に伝わるように工夫しながら, クイズを出したり答えたりしようとする。</p> <p><u>クイズ大会をしよう</u></p> <p>【Let's Chant】What's this?</p> <p>【Activity】クイズ大会をしよう。</p> <p>・ペアでクイズを出したり, 答えたりする。</p>	<p>Hint 1,(色).</p> <p>What's this?</p> <p>It's a ○○.</p> <p>Hint, please.</p> <p>That's right.</p> <p>Close.</p>	<p>【コ】相手に伝わるように工夫しながら, 反応を確かめてヒントを出している。相手に伝わるジェスチャーを使っている。<行動観察・振り返りカード></p>

9 本時の計画

(1) 目標

○相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 評価規準

○相手に伝わるように工夫しながら、反応を確かめてヒントを出している。

相手に伝わるジェスチャーを使っている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(3) 使用表現・語彙

【主な使用表現・語彙】

・ What's this? Hint, please. It's a (strawberry).

That's right! Close! No, sorry.

(4) 準備物

タブレット【デジタル教材 (Let's Try!1)】, ワークシート

(5) 展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価基準 [評価方法]
導入	<p>○挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。(指導者と・ペアで) ・曜日, 日付, 天気を言う。 <p>○【Let's Chant】What's this?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声に合わせてチャンツを言う。 <p>○本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">クイズ大会をしよう。</div>	<p>◇はっきりとした声で, 気持ちの良い挨拶を交わす。</p> <p>◇音声に合わせて, はっきりとした声でチャンツを言うようにさせる。</p>	
展開	<p>○クイズ大会のやり方を確認する。</p> <p>○クイズ大会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ヒントクイズを出したり答えたりする。 ・前半は2人1組で活動する。 ・中間評価を聞く。 ・後半は1人で活動する。 	<p>◇クイズを出したり答えたりする時は, 必ずペアで行動させる。</p> <p>◇clear voice, eye contact, smile を意識させる。</p> <p>◇中間評価では, 反応を確かめてヒントを出していたり, ジェスチャーを使ったりしている児童を取り上げ, モデルを示す。</p> <p>◆答えを英語で言えない場合は, 日本語でも良いことを伝える。</p>	<p>【コ】相手に伝わるように, 反応を確かめてヒントを出している。相手に伝わるジェスチャーを使っている。 [行動観察, ふりかえりカード]</p>

ま と め	<p>○本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードを書く。 ・振り返りを交流する。 	<p>◇振り返りの視点</p> <p>友だちに伝えるために使った自分の工夫を書くように伝える。</p>	
	<p>★【めざす子どもの振り返りの姿】</p> <p>○What's this? It's a banana.</p> <p>○友だちに伝わるようにヒントの出し方を工夫しました。英語でクイズに答えることができ楽しかったです。(振り返りカード)</p>		

10 板書例

Today's goal	クイズ大会をしよう。	Thursday
Let's play a quiz game.		November First
Hint 1, (color).		sunny
Hint 2, (vegetable, fruit, animal).		
What's this?	It's a ○○.	Hint, please.
Hint 3, (ジェスチャー).		clear voice.
That's right. It's a ○○.	Close.	eye contact.
	No, sorry.	smile.